

令和3年度地域経済構造分析推進業務
実施報告書

概要版

令和4年3月

株式会社 帝国データバンク

1. 本事業の目的

本事業の仕様書に記載の通り、「宮城県の観光産業が地域を支える基幹産業として、特色ある地域資源を生かした各産業への経済波及効果や、県民の県内観光に対する消費行動が各地域の利益にどのようにつながり、持続可能な地域経済の発展にどの程度寄与しているのかの現状把握・分析を行うとともに、その結果を関係者と共有することを通じて EBPM の普及を図る」ことを目的とし、経済波及効果の推定を行った。

2. 観光経済波及効果簡易推計システム概要

本事業における経済波及効果の推定には、「観光経済波及効果簡易推計システム¹」を活用する。このシステムは、特定地域における観光業者から、地域の商工業者・サービス業者のサプライチェーンを分析し、観光産業と地域経済全体の産業連関を明らかにするとともに、経済波及効果を簡易に算出するシステムである。

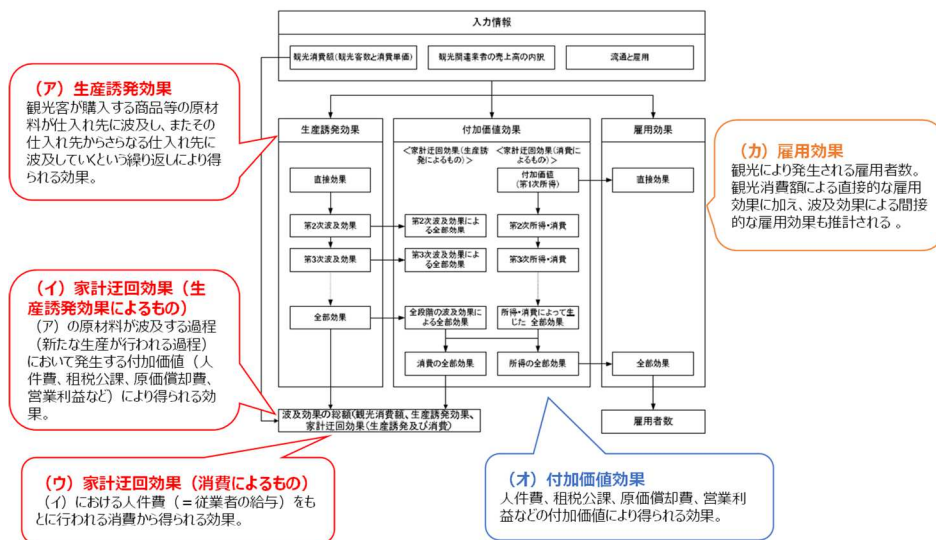
特徴①産業連関表の作成が不要

本システムでは推定方法として「乗数理論」を採用している。乗数理論では起点が観光客の消費額であり、サプライチェーンをもとにどのように分配されていくかを乗数で推定していくため、産業連関表を利用せずに経済波及効果を推定することが可能である。

特徴②様々な効果を推定可能

本システムは、「経済波及効果」だけでなく、波及効果の内訳である、「観光消費額」「生産誘発効果」「家計迂回効果（生産誘発効果によるもの）」「家計迂回効果（消費によるもの）」、その他にも「付加価値効果」「雇用効果」の推定が可能である。

(工) 経済波及効果
観光消費額及び (ア) ~ (ウ) により得られる効果。



¹ 出典：観光産業の地域経済への波及効果分析手法の検討及び地域ストーリー作りに関する調査、公益財団法人日本交通公社、2015年3月

3. 推定作業の注意点

本事業における、推定作用は以下のルールを採用した。

- ・ 二次波及先については、「一次仕入先」に統一して波及効果を算定する
- ・ 原材料二・三次域内調達率は原材料一次域内調達率を転用する
- ・ 「旅行代理店その他の予約サービス」「スポーツ・娯楽サービス」については、個人アンケートの結果、消費額の回答が得られなかったため、推計不可とする

4. 推定に必要なデータと取得方法

RESAS および経済センサスデータを参考とし、より詳細かつ網羅性が高い以下の情報を取得し、推定に必要な元データとした。

必要データ	取得方法
観光客数	宮城県「令和2年観光統計概要」 ※県内旅行者数の掲載はないため、居住地別宿泊観光客数における「圏内」の割合「39.0%」を採用し、全数から推計
観光消費単価	個人アンケート※1
域内調達率、経費構造データ	企業アンケート※2
限界消費性向	総務省「家計調査」
域内消費率	自地域「購買動向調査」
年間給与所得平均（全国）	国税庁「民間給与実態統計調査」
給与地域補正值	(株)ゼンリンマーケティングソリューションズ 「個人所得指標」
調査対象期間	-
域内人口	総務省「住民基本台帳」

※1 個人アンケート

本事業にて弊社独自に個人に向けたアンケートを実施

【調査対象】

提携する調査会社が保有するモニターに登録している宮城県内に居住する15～79歳の男女42,084名

【調査方法】Web アンケート調査

【回収数】2,500件

※2 企業アンケート

本事業にて弊社独自に企業に向けたアンケートを実施

【調査対象】宮城県内にある、TSA観光8分類の属する企業群2,277社
(弊社保有データベースより抽出)

【調査方法】郵送調査

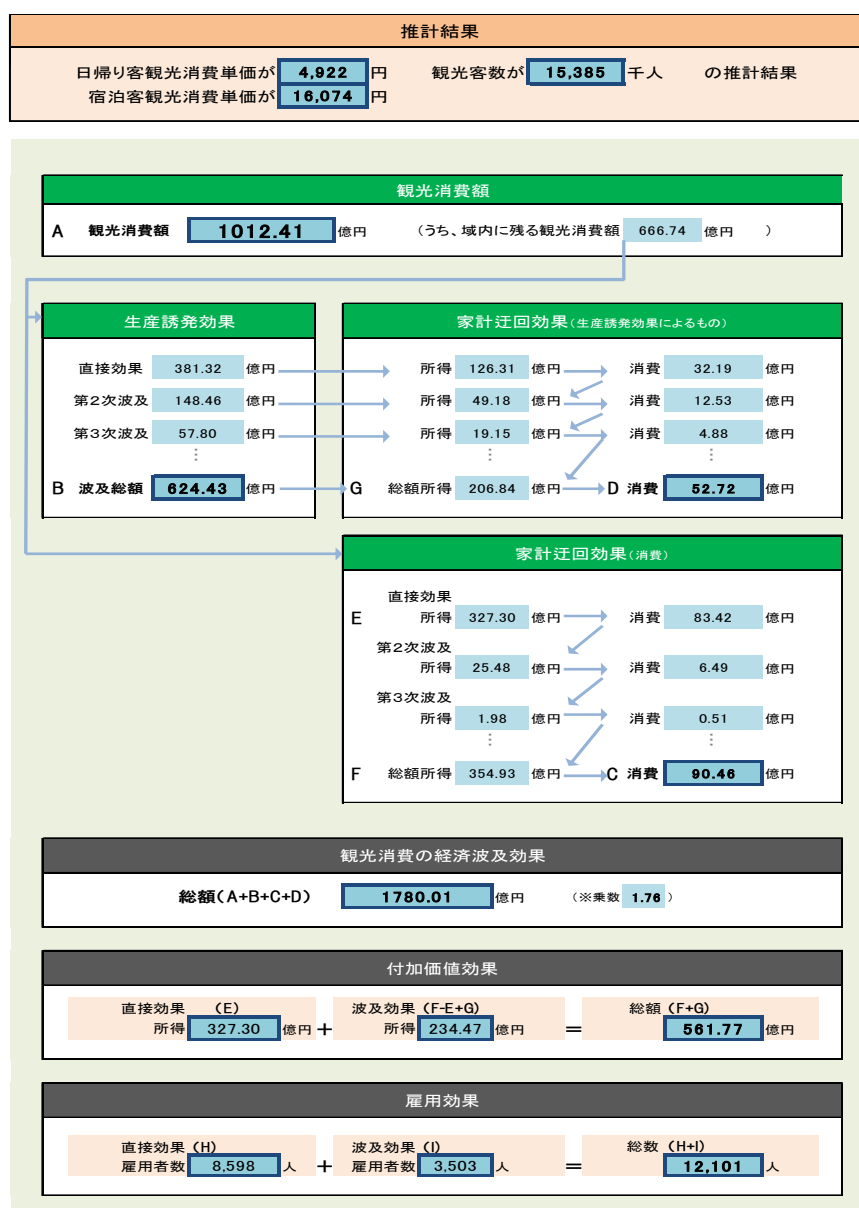
【回収数】608社/2,277社(回収率:26.7%)

5. 推定結果²

令和2年の観光消費額から得られる波及効果は以下の通り推定された。

①宮城県

項目	結果
経済波及効果 (A+B+D+C)	1,780.01 億円
A 観光消費額	1,012.41 億円
B 生産誘発効果	624.43 億円
C 家計迂回効果 (消費によるもの)	90.46 億円
D 家計迂回効果 (生産誘発効果によるもの)	52.72 億円
付加価値効果	561.77 億円
雇用効果	12,101 人

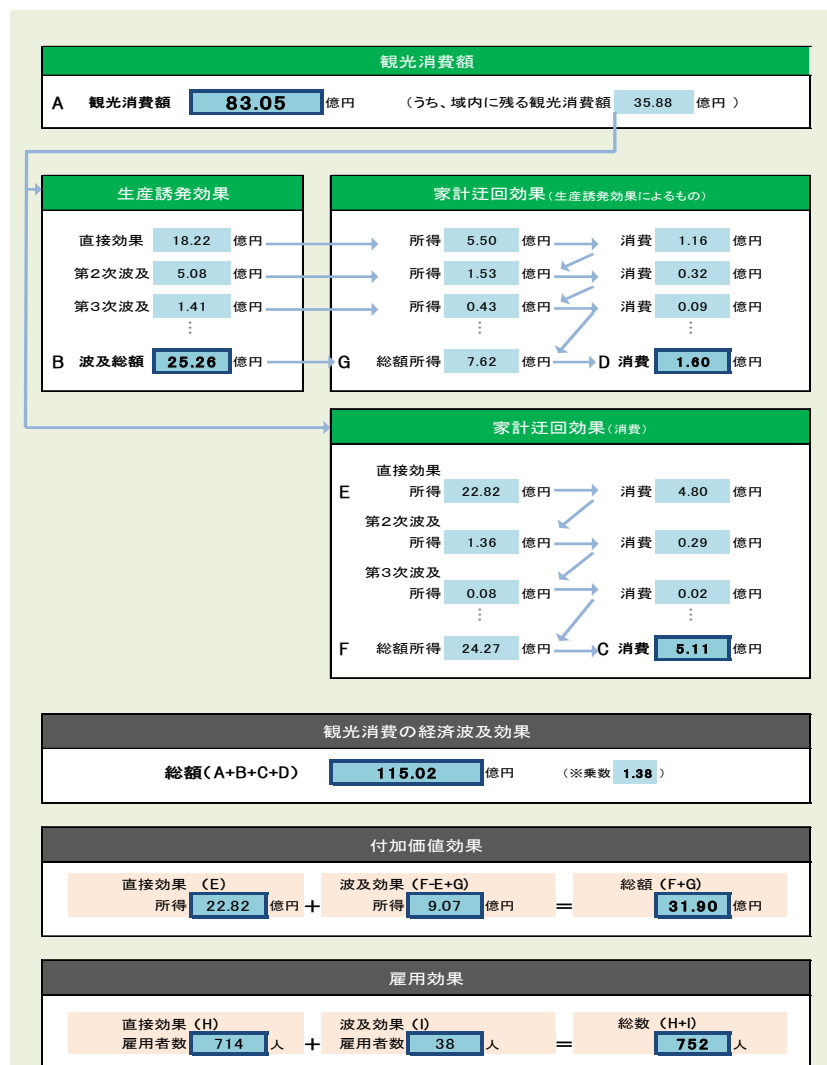


² 本報告書では推定結果の数値は小数点3位を四捨五入して記載しているため、一部小数点以下の合計値が一致しない場合がある。

②仙南地域

項目	結果
経済波及効果 (A+B+D+C)	115.02 億円
A 観光消費額	83.05 億円
B 生産誘発効果	25.26 億円
C 家計迂回効果 (消費によるもの)	5.11 億円
D 家計迂回効果 (生産誘発効果によるもの)	1.60 億円
付加価値効果	31.90 億円
雇用効果	752 人

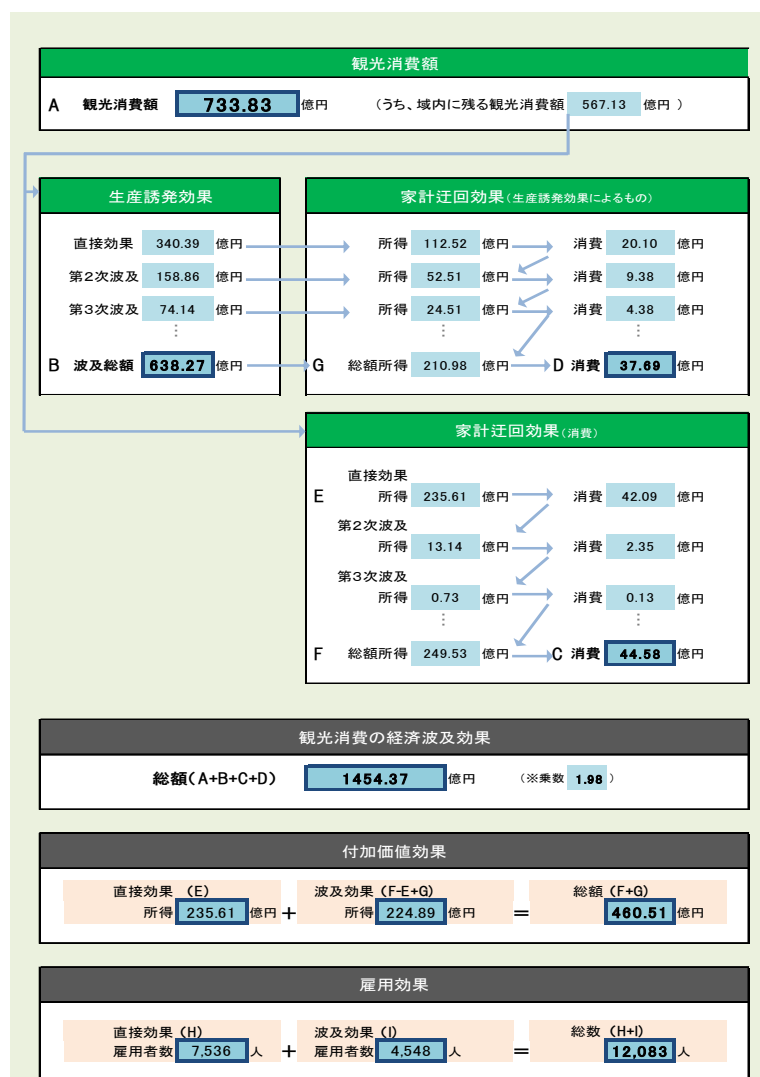
推計結果		
日帰り客観光消費単価が	3,283 円	観光客数が
宿泊客観光消費単価が	16,117 円	1,911 千人
の推計結果		



③仙台地域

項目	結果
経済波及効果 (A+B+D+C)	1,454.37 億円
A 観光消費額	733.83 億円
B 生産誘発効果	638.27 億円
C 家計迂回効果 (消費によるもの)	44.58 億円
D 家計迂回効果 (生産誘発効果によるもの)	37.69 億円
付加価値効果	460.51 億円
雇用効果	12,083 人

推計結果	
日帰り客観光消費単価が 7,718 円	観光客数が 7,228 千人 の推計結果
宿泊客観光消費単価が 18,091 円	



④大崎地域

項目	結果
経済波及効果 (A+B+D+C)	170.57 億円
A 観光消費額	107.80 億円
B 生産誘発効果	53.02 億円
C 家計迂回効果 (消費によるもの)	6.47 億円
D 家計迂回効果 (生産誘発効果によるもの)	3.28 億円
付加価値効果	47.70 億円
雇用効果	1,110 人

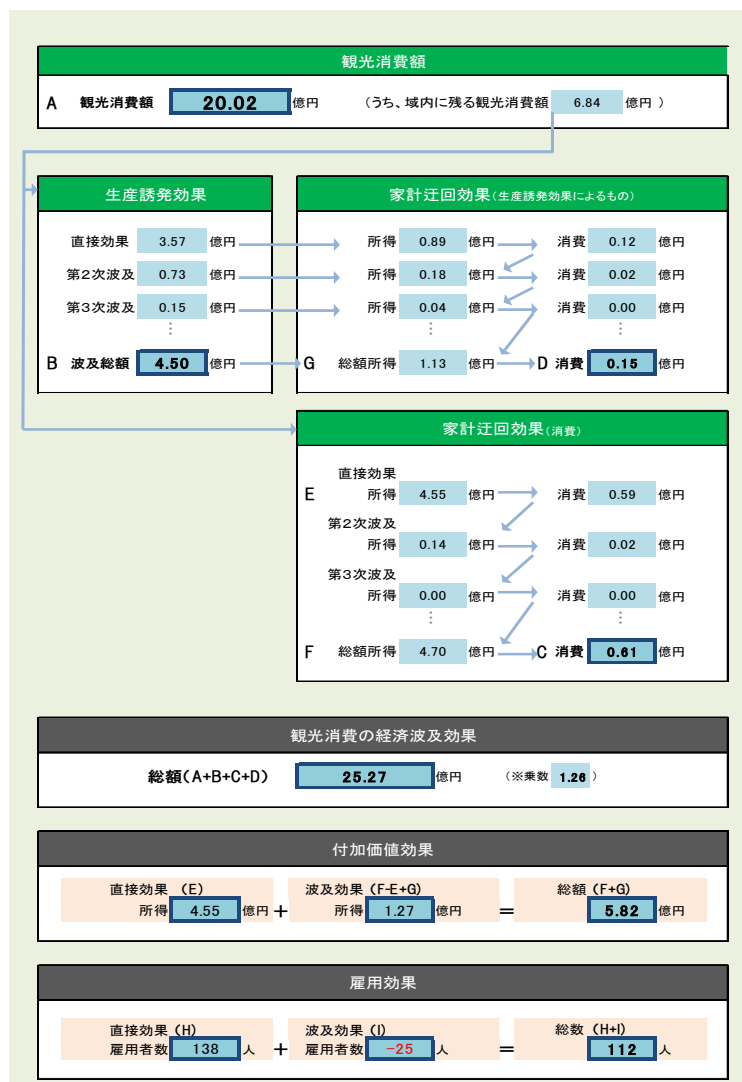
推計結果		
日帰り客観光消費単価が	3,452 円	観光客数が 2,570 千人
宿泊客観光消費単価が	13,909 円	の推計結果



⑤栗原地域

項目	結果
経済波及効果 (A+B+D+C)	25.27 億円
A 観光消費額	20.02 億円
B 生産誘発効果	4.50 億円
C 家計迂回効果 (消費によるもの)	0.61 億円
D 家計迂回効果 (生産誘発効果によるもの)	0.15 億円
雇用効果	5.82 億円
付加価値効果	112 人

推計結果		
日帰り客観光消費単価が	3,418 円	観光客数が 531 千人
宿泊客観光消費単価が	12,156 円	の推計結果



⑥登米地域

項目	結果
経済波及効果 (A+B+D+C)	58.42 億円
A 観光消費額	37.74 億円
B 生産誘発効果	17.18 億円
C 家計迂回効果 (消費によるもの)	2.17 億円
D 家計迂回効果 (生産誘発効果によるもの)	1.32 億円
付加価値効果	14.36 億円
雇用効果	350 人

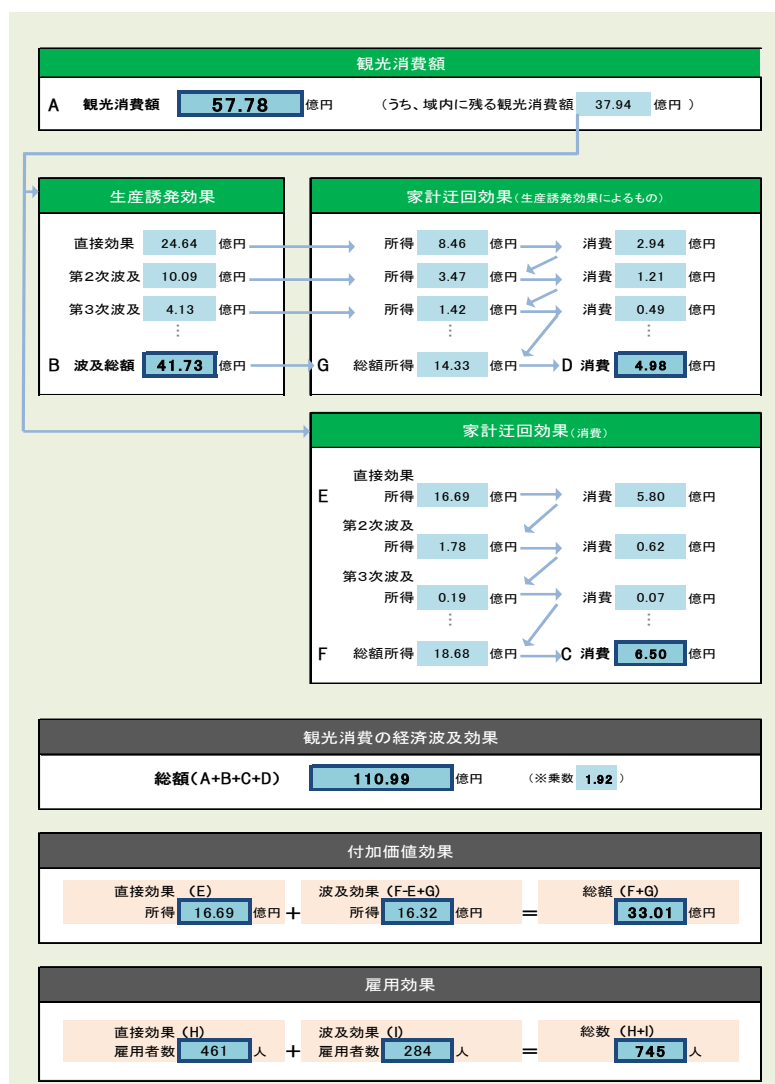
推計結果		
日帰り客観光消費単価が	3,802 円	観光客数が 957 千人
宿泊客観光消費単価が	10,407 円	の推計結果



⑦石巻地域

項目	結果
経済波及効果 (A+B+D+C)	110.99 億円
A 観光消費額	57.78 億円
B 生産誘発効果	41.73 億円
C 家計迂回効果 (消費によるもの)	6.50 億円
D 家計迂回効果 (生産誘発効果によるもの)	4.98 億円
付加価値効果	33.01 億円
雇用効果	745 人

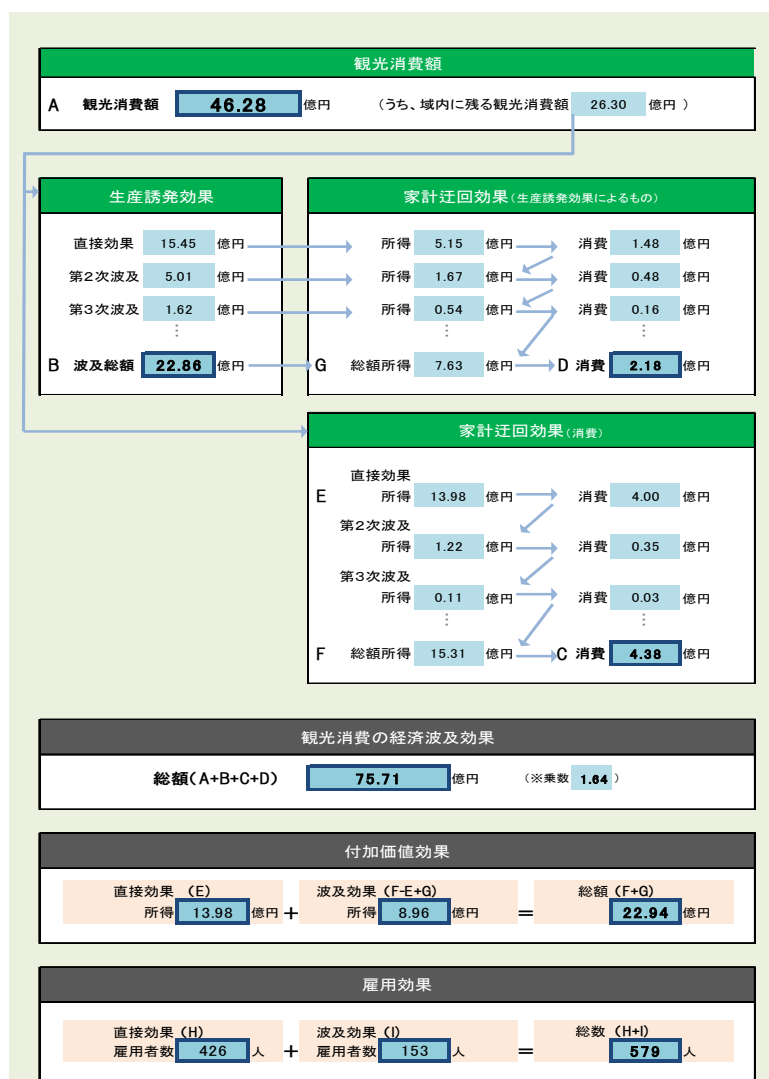
推計結果		
日帰り客観光消費単価が	3,708 円	観光客数が 1,314 千人
宿泊客観光消費単価が	13,792 円	の推計結果



⑧気仙沼地域

項目	結果
経済波及効果 (A+B+D+C)	75.71 億円
A 観光消費額	46.28 億円
B 生産誘発効果	22.86 億円
C 家計迂回効果 (消費によるもの)	4.38 億円
D 家計迂回効果 (生産誘発効果によるもの)	2.18 億円
付加価値効果	22.94 億円
雇用効果	579 人

推計結果		
日帰り客観光消費単価が	3,926 円	観光客数が 874 千人 の推計結果
宿泊客観光消費単価が	14,056 円	



⑨全体

項目	宮城県	仙南	仙台	大崎
経済波及効果 (A+B+D+C)	1,780.01 億円	115.02 億円	1,454.37 億円	170.57 億円
A 観光消費額	1,012.41 億円	83.05 億円	733.83 億円	107.80 億円
B 生産誘発効果	624.43 億円	25.26 億円	638.27 億円	53.02 億円
C 家計迂回効果(消費によるもの)	90.46 億円	5.11 億円	44.58 億円	6.47 億円
D 家計迂回効果(生産誘発効果によるもの)	52.72 億円	1.60 億円	37.69 億円	3.28 億円
付加価値効果	561.77 億円	31.90 億円	460.51 億円	47.70 億円
雇用効果	12,101 人	752 人	12,083 人	1,110 人

項目	栗原	登米	石巻	気仙沼
経済波及効果 (A+B+D+C)	25.27 億円	58.42 億円	110.99 億円	75.71 億円
A 観光消費額	20.02 億円	37.74 億円	57.78 億円	46.28 億円
B 生産誘発効果	4.50 億円	17.18 億円	41.73 億円	22.86 億円
C 家計迂回効果(消費によるもの)	0.61 億円	2.17 億円	6.50 億円	4.38 億円
D 家計迂回効果(生産誘発効果によるもの)	0.15 億円	1.32 億円	4.98 億円	2.18 億円
付加価値効果	5.82 億円	14.36 億円	33.01 億円	22.94 億円
雇用効果	112 人	350 人	745 人	579 人

- ・ ほとんどの波及効果は「仙台地域」に集中しており、「生産誘発効果」については宮城県全体を上回っている。
- ・ 「栗原地域」においては「経済波及効果」が25.27億円と小さく（宮城県の1.4%）、「雇用効果」も112人と宮城県の0.9%程度である

※「観光消費単価」と「域内調達率」は各地域の回答結果の平均を採用し、各地域個別に波及効果を算出しているため、宮城県の値と各地域の値の合計値は一致しない。

6. 観光統計概要との比較

今回の簡易システムと、宮城県「令和2年観光統計概要」のP12「(9) 観光消費額・観光による経済効果の推計」で使用されているシステムについて比較を行う。

- ・ 観光経済波及効果簡易推計システム
- ・ 宮城県企画部統計課「経済波及効果分析ツール」

【検討方法】

それぞれのシステムにおける推計方法の違いを分析し、各システムで採用している数値の違いについても考察を行う。

ただし、数値の比較においては産業連関表の有無が異なるため、各産業における経費構造や自地域内調達率を比較することは難しい。そのため、「観光客数」「観光消費単価」「推定の結果」についてのみ比較を行う。

①推計方法

項目	観光経済波及効果簡易推計システム	宮城県企画部統計課 経済波及効果分析ツール
推定方法	乗数理論	-
取引構造	本事業で実施の企業アンケート調査の結果	H27年宮城県産業連関表
観光客数	観光統計概要より推計	観光庁「共通基準による観光入込客統計」
観光消費単価	本事業で実施の個人アンケート調査の結果	観光庁「旅行・観光消費動向調査」
特徴	産業連関表の作成が必要なく、各地域毎の経済波及効果を比較的容易に算出可能	平成27年宮城県産業連関表を基礎に様々な公的統計から、本来専門的知識や推計のための複雑な計算過程が必要な経済波及効果を自動的に算出可能

②観光客数・観光消費単価について

「観光客数」については観光統計概要に近い数値を推定できているが、「観光消費単価」については観光統計概要よりも低い額となっている。「観光消費単価」が低くなった理由としては、新型コロナウイルスの影響で個人アンケートにて、「日帰り旅行とし宿泊旅行を控えた」「普段立ち寄っていた飲食店や商店への立ち寄りを控えた」という回答が多くなったことが原因と考えられる。

		システム	観光統計概要 (日本人・観光目的)	観光統計概要 (日本人・ビジネス目的)	観光統計概要 (合計)
観光客数	日帰り	13,097千人	11,987千人	132千人	12,119千人
	宿泊	2,288千人	1,030千人	1,142千人	2,172千人
	合計	15,385千人	13,017千人	1,274千人	14,291千人
観光消費単価	日帰り	4,922円/人回	5,853円/人回	4,698円/人回	-
	宿泊	16,074円/人回	25,098円/人回	24,835円/人回	-

※観光統計概要については、以下の方法にて推計している。

「観光客数(人)」 = (「③観光消費額(百万円)」 × 1,000,000) ÷ 「②観光消費額単価(円/人回)」

表6 観光消費額単価・観光消費額

区分	②観光消費額単価(円/人回)				③観光消費額(百万円)				④消費額合計 (百万円)
	県内		県外		県内		県外		
	宿泊	日帰り	宿泊	日帰り	宿泊	日帰り	宿泊	日帰り	
日本人・観光目的	25,098	5,853	29,313	10,346	25,863	70,157	37,336	32,551	165,906
日本人・ビジネス目的	24,825	4,698	28,950	7,606	28,348	624	44,083	3,752	76,807
区分	②観光消費額単価(円/人回)				③観光消費額(百万円)				④消費額合計 (百万円)
	観光目的		ビジネス目的		観光目的		ビジネス目的		
	宿泊	日帰り	宿泊	日帰り	宿泊	日帰り	宿泊	日帰り	
訪日外国人	36,100	0	124,847	-	1,246	-	5,800	-	7,046
合 計									249,759

③推計結果について

システムでは、用いている用語が異なるためその対応について示す。ただし、使用している推定方法が異なるため、一概に横比較はできない点に注意が必要である。

観光経済波及効果簡易推計システム	観光統計概要
A 観光消費額	消費額合計(※県内に限定)
(ア)生産誘発効果	生産誘発額(※観光統計概要には記載なし)
(イ)家計迂回効果 (生産誘発効果によるもの)	-
(ウ)家計迂回効果 (消費によるもの)	-
(エ)経済波及効果	観光による総合波及効果(百万円)
(オ)付加価値効果	-
(カ)雇用効果	雇用誘発数

	システム	観光統計概要
A 観光消費額	1,012.41億円	960.20億円
(エ)経済波及効果	1,780.01億円	896.81億円
(カ)雇用効果	12,101人	8,729人

7. 総括

【推計結果】

- ・ 全ての地区において、産業連関表を用いずに経済波及効果を推計することができた。
- ・ 宮城県全体に関しては、「令和2年観光統計概要」で示されている波及効果の結果と比較して、本システムの方が経済波及効果は大きくなる傾向がある。
- ・ 今回、「観光経済波及効果簡易推計システム」では、本事業で実施した企業・個人アンケート調査の結果を用いているため、より最新の状況を反映されていると考えられる。

【各地域の特徴】

- ・ 「仙台地域」にほとんどの経済波及効果が集中している。
- ・ 「栗原地域」では、経済波及効果・雇用効果が宮城県の1%以下である。